

## 大東市新総合事業実施準備状況ヒアリング結果概要

2015年9月11日

応対者 大東市保健医療部高齢者支援課  
奥野氏  
上席主査 逢坂伸子（理学療法士）  
出席者 大阪社保協 寺内 日下部  
大東社保協 6人

### 1 基礎的なデータをご提供ください

#### 【提供資料】

#### ①直近の要介護・要支援認定者数（要介護度別）・第1号被保険者に占める認定率

平成27年3月末 要介護・要支援認定者数（要介護度別）

要支援1	1,091人
要支援2	979人
要介護1	718人
要介護2	902人
要介護3	605人
要介護4	522人
要介護5	533人

第1号被保険者に占める認定率 17.43%

#### ②要支援者のサービス利用実績（介護予防訪問介護、介護予防通所介護）

平成27年3月末 介護予防訪問介護は7,213件 介護予防通所介護は5,710件

⇒利用人数は400人くらいか

#### ③介護予防事業の実績

地域づくりによる介護予防「大東元気でまっせ体操」の拠点が 87グループ  
約1,500人の高齢者が毎週体操を行っています。

#### 【やりとりの中で】

大東市では、二次予防事業は実施していない。基本チェックリストも全員配布はせず、大東元気でまっせ体操参加者約1500人が年2回実施している。二次予防対象者把握事業のような無駄なことはせずに、地域づくりと住民主体での介護予防に取り組んでいる。今では、この方向は国も認め制度改正でも反映された、とのこと。（いち早く地域住民主体の介護予防に取り組んだ実績に強い確信を持っているようである）

2 貴市の「地域包括ケアシステム」の基本的な考え方はどのようなものでしょうか。また、地域包括ケア体制を作り上げていく上での課題は何でしょうか。

## ○基本的考え方

### 【口頭回答】

大東市民の方がいくつになってもいつまでも生き生きと暮らしていただけるように、できるだけ住民主体で住民が支えていくような仕組みを地域でつくっていききたい。

### ○課題

庁内で地域包括ケアシステム構築に向けた課や部をまたがった連携体制が課題である。

## 3 28年度から新総合事業を開始する理由は何でしょうか。また、その準備スケジュール。関係者への意見聴取及び説明の予定はいかがでしょうか

### 【口頭回答】

#### ○28年度開始理由

平成27年度からは体制作りが間に合わないので、何とか28年度から実施したいと考えた。

#### ○準備スケジュール、関係者意見徴収、説明予定 など

28年4月実施に向けて、関係者意見聴取では、地域包括支援センターに聴取したほか、事業者に対する「多様なサービス」に関するアンケートも実施。事業者連絡会などでも意見をもらい、地域包括支援センター等と協議しながら仕組みを組み立てている。

説明会は、事業者向け2回、ケアマネジャー向けに2回、市民向けには3回開催し、今後市外事業者向け説明会も開催予定。

年末には民生委員、区長、老人クラブなどにも説明し、自治会役員会などにも出向で説明会を行う予定。また、自立支援に向けた事業者研修会（通所介護・訪問介護・通所リハ・訪問看護）も開催している。

### 【やりとりの中で】

※パブリックコメントはとくに予定しておらず、計画策定委員会にもはかる予定はないとのこと、（方向を決めて事業者や住民へ「周知」している感じであり、来年4月実施に向け1月以降は具体的な作業に入っていくようである）

## 4 通所型・訪問型それぞれに「多様なサービス」（A型・B型・C型等）の基準及び指定（委託・補助等）の予定をお聞かせください。

### 【口頭説明】

#### ① 訪問型サービス

- ・現行相当⇒現在の予防訪問介護をみなし指定（報酬は現行どおり）市内24カ所
- ・緩和A型⇒事業者8＋シルバー人材センターの予定

「報酬」は現行の7割くらいを想定しているが28年1月には決めていきたい

- ・住民主体B型⇒市が社会福祉協議会に委託して「生活サポーター事業」（有償ボランティア事業。9月時点で利用者7人 サポーター20人程度だが、10月から全市展開す

- る。2日間・9時間の研修で登録。9月～11月で3回開催（90人程度まで拡大）
- ・短期集中C型⇒市が実施か委託か検討中。「めざせ6か月で卒業」、リハビリ専門職が生活障害がなぜ起きているのかを分析し地域包括支援センターとプログラムをつくり通所へつなぐようなイメージ。

## ② 通所型サービス

- ・現行相当⇒現在の予防通所介護をみなし指定（報酬は現行どおり）市内22カ所
- ・基準緩和A型⇒事業者4カ所指定見込み。
- ・住民主体B型⇒大東元気でまっせ体操があるので、とくに設けない
- ・短期集中C型⇒4カ所見込み（通所介護3、通所リハ1）

## 5 基本チェックリストの実施状況についてお教え下さい

### 【口頭回答】

高齢者支援課の窓口と地域包括支援センターで実施する。介護保険課の窓口は委託。市民から相談を受けて基本チェックリストを案内することになる。チェックリストの実施件数見込は約2000件（大東元気でまっせ体操参加者1500人+窓口）

## 6 新総合事業の予防プランの状況についてお教え下さい

### 【口頭回答】

### ① 予防プラン件数（地域包括直接・居宅介護支援事業所委託）

予防プラン件数は、1274件。地域包括支援センターが主に担当し、85件は居宅介護支援事業所に委託（夫婦で一方が要介護の利用者や市外の方のみ）

委託プランは地域包括支援センターがあまり関与できないので、自立支援よりもお世話の提供になってしまっているものもある。

### ② 多様なサービスへの移行促進の考え方・方法について

前月まで利用していた人は現行サービスの利用は可能。自立支援に向けたマネジメントでサービスや内容は決まっていく多様なサービスや生活サポーター事業は使いやすいので生活援助などでは選ばれていくと思う

## 7 生活支援コーディネーター及び協議体の設置の状況についてお教え下さい

### 【口頭回答】

協議体は、27年度は大東市全体（第1層）で設置する。第2層は国よりも細かく、元気でまっせ体操の地域を単位に介護予防サポーターを中心に設置していきたい。

生活支援コーディネーターは今のところ決まっていない。協議体の中で適切な方が選ばれることになろうが、期限は決まっていない。

## 8 総合事業の事業費の見込についてお教え下さい 平成29年度まで

**【提供資料】**

平成28年度	167,714,788 円	半分移行
平成29年度	282,260,725 円	全部移行